

ものづくり系学部案の検討に当たり参考となる学部を有する大学の例
※各大学のHPを基に作成

<p>大学・参考学部名 【場所】</p>	<p>(国立) 佐賀大学 芸術地域デザイン学部 (平成28年4月設置) 【佐賀県 佐賀市】</p>	<p>(公立) 長岡造形大学 造形学部 (平成6年4月設置：平成26年4月公立大学に移行) 【新潟県 長岡市】</p>
<p>参考学部等の 主な科目内容</p>	<p><教養教育科目> 英語, スポーツ実習, 情報基礎概論 <学部共通科目> 英語, スポーツ実習, 地域デザイン基礎, デザイン発想論, アートマネジメント, 地域創生フィールドワーク <コース科目> ・芸術表現コース 工芸理論, 現代美術概論, 日本画, 西洋画, 彫刻, ミクストメディア, 視覚伝達デザイン, コミュニケーション論, 染色工芸, 漆・木工芸, 金属工芸, 陶磁器産業論, メディアアート論, 地域ブランディング論, ロクロ成形, 装飾技法, セラミック科学 ・地域デザインコース 博物館概論, 地域再生論, 地域マネジメント論, コミュニティビジネス, フィールドデザイン演習, 経営・流通演習, キュレーター実務実践演習, 考古学, コンテンツデザイン, 映像デザイン, 情報デザイン, コミュニケーションデザイン論, ミュージアム・マーケティング, 都市空間論, 地域史論, 地域資源論</p>	<p><教養科目> 英語, スポーツ, 日本文化論, 情報リテラシー, 地域文化論, 統計学, 美術論, 社会心理学, 法学, 現代社会論 <専門教育科目(学部共通)> 基礎造形実習, デザイン概論, 色彩学, プロダクトコンピュータ演習, 西洋美術史, 社会心理学, メディア概論, 地域協創演習, マーケティング論, デザインマネジメント, 機構学 <専門教育科目> ・プロダクトデザイン学科 プロダクトデザイン演習, プロダクト3DCG演習, テキスタイル・ファッション演習 ・視覚デザイン学科 写真映像基礎, Webデザイン, ポートフォリオ, 表現デザイン演習 ・美術・工芸学科 古美術研究, 美術・工芸材料学, 美術表現演習, クラフトデザイン演習 ・建築・環境デザイン学科 建築環境工学, 構造力学, コミュニティデザイン, 建築・インテリア演習</p>
<p>アドミッション ポリシー (入学者受入方針)</p>	<p>芸術地域デザイン学部は、創造性や高い技能をもち、新しい芸術表現を実現できる人材、また、地域が有する問題や状況に芸術を手段として柔軟に対応し、芸術を社会に紹介したり、芸術で社会を活性化したりできる人材の養成を目的とし、この目的を達成するために、本学部が求める学生像は以下のとおりです。 ・幅広い基礎的学力、芸術の表現や芸術のマネジメントに高い関心を持っている人 ・芸術の知識・技能・手法、そして実践力・協働する力を総合的に高め、地域社会に貢献したいと考える人</p>	<p>社会において創造的役割を担いたいとの強い気持ちを抱き、基礎的な学力・表現力及び学ぶ意欲を持ち、長岡造形大学でのカリキュラムを通してその実現に向けた力を養いたいと思う者を広く受け入れる。</p>
<p>カリキュラム ポリシー (教育課程編成・ 実施方針)</p>	<p><芸術表現コース> ・健全で潤いのある地域社会の構築に関わる一員として、社会科学、人文科学、自然科学の幅広い教養とコミュニケーション力、情報活用能力等のスキルを身につける。 ・主体性、積極性、協調性、発想力、企画力、リーダーシップなどの特性を身につける。 ・独自の芸術表現とそれを支える技術、芸術の歴史や素材・技法に関する知識、経営的な視点を持ち、芸術を多面的・総合的に捉える能力を身につける。 ・優れた芸術表現を通して、地域の活性化に寄与できる方法論を身につける。 <地域デザインコース> ・健全で潤いのある社会の構築に関わる社会の一員として、社会科学、人文科学、自然科学の幅広い教養とコミュニケーション力、情報活用能力等のスキルを身につける。 ・主体性、積極性、協調性、発想力、企画力、リーダーシップなどの特性を身につける。 ・地域デザインの理論と実践力、芸術の歴史や素材・技法に関する知識、経営的な視点を持ち、芸術を多面的・総合的に捉える能力を身につける。 ・優れた地域デザインの能力を駆使し、芸術を通して地域の活性化に寄与できる方法論を身につける。</p>	<p>・地域・社会や企業と連携した実践的なデザインプロジェクトにより、社会人基礎力を養成する「地域・社会連携系」科目を拡充します。 ・構想力を重視したデザインプロセスを総合的に学ぶ演習・実習科目を強化します。 ・複合的な造形力修得のための横断的科目の充実を図ります。</p>
<p>卒業後の主な進路</p>	<p>平成28年4月に新設されたため不明</p>	<p>家具メーカー、広告会社、建築・不動産業、設計事務所、食品加工業、日用品・玩具メーカー、公務員、職人、建設業、製造業</p>

大学・参考学部名 【場所】	(国立) 宇都宮大学 地域デザイン科学部 (平成28年4月設置) 【栃木県 宇都宮市】	(国立) 岐阜大学 地域科学部 (平成8年10月設置) 【岐阜県 岐阜市】
参考学部等の 主な科目内容	<p><基礎教養科目> 英語、スポーツと健康、情報処理基礎、地域デザイン学、人文科学系・社会科学系・自然科学系・初習外国語系・基盤キャリア教育科目</p> <p><共通専門科目> 地域コミュニケーション演習、GIS演習、地域デザイン倫理、地域プロジェクト演習</p> <p><専門科目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティデザイン学科 地域社会総論、まちづくり論、経済学概論、社会統計学、多文化理解論、コミュニティデザイン演習、福祉社会学、観光地理学、NPO論 ・建築都市デザイン学科 微積分学、線形代数、建築図学、建築構造力学、構造設計論、建築史、建築計画学、土質基礎工学、環境工学、建築材料、建築リサイクル学 ・社会基盤デザイン学科 社会基盤解析法、構造力学、水理学、測量学、構造工学、社会統計学、衛生工学、地質工学、地域生態学、生物多様性論、高齢社会学、公共経済学、NPO論、環境・資源経済学、地方自治論 	<p><専門基礎科目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通 英語、第2外国語、地域研究入門、社会活動演習 ・地域政策学科 現代経済学、法学、微分積分、地理学、憲法、物理学、化学、生物学 ・地域文化学科 教育・心理学、哲学、文学、憲法、物理学、グローバルイノベーション概論 <p><専門科目></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域政策学科 地域経済論、地域づくり論、社会政策論、都市環境工学、経営学、マーケティング論、社会資本論、地方財政論、応用解析学、システム工学、環境物理学 ・地域文化学科 現代社会学、哲学、憲法、文化人類学、社会言語学、コミュニケーション論、文化思想史、博物館学、科学思想論、メディア論、ジェンダー論、地域産業論
アドミッション ポリシー (入学者受入方針)	<p>【コミュニティデザイン学科】の求める人材像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域や社会との関わりの中で学び、課題解決に当たる意欲のある人材 2 地域の成り立ちを理解し、より良いコミュニティの創生を追究するために必要な基礎学力を有する人材 3 地域の資源・社会システムの視点から、総合的・実践的にまちづくりを学ぶ熱意のある人材 <p>【建築都市デザイン学科】の求める人材像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 建築と地域デザインの専門技術を学ぶために必要な幅広い基礎学力を有する人材 2 人間生活・社会・自然を含む地域環境と建築・地域デザインとの関わりを学ぶ熱意のある人材 3 歴史・文化・芸術を活かした建築・地域空間創造を追究する意欲のある人材 <p>【社会基盤デザイン学科】の求める人材像</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 国内・海外の様々な地域の課題解決に関心があり、グローバルに活躍したい人材 2 社会基盤と地域デザインの技術修得に熱意があり、そのための幅広い基礎学力を有する人材 3 社会全体の利益のために奉仕できる責任感のある人材 	<p>地域科学部は、「地域」がキーワードとなるさまざまな社会的及び文化的課題について、人文科学、社会科学ならびに自然科学の基礎学力をもとにして、総合的に考究する能力を育てることを目標としています。これにより発展的な地域創成や、豊かな社会形成に貢献でき、リーダーシップを発揮できる人の育成を目指します。</p> <p>このような理念・目標のもと本学部の学生には、主に次のような資質を持っていることを望みます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 人間社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている 2 物事をさまざまな視点から総合的かつ論理的に考えることができる。 3 自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。 4 他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現する能力を持っている。 5 幅広い学問分野を学びながら、自己の専門分野を次第に決定してゆきたいという意欲を持っている。
カリキュラム ポリシー (教育課程編成・ 実施方針)	<ul style="list-style-type: none"> ・従来の縦割りの学問体系で対応できない、「ハードウェア（環境・建築・社会基盤）」、「ソフトウェア（制度とコミュニティ）」、「つながり」を一体的に捉えることができる人材を育成します。 ・各地域の強み（地域資源・地域特性）を活かして当該地域の状況に適した弾力的な対応ができる人材を育成します。 ・まちづくりを実現するため、地域住民・コミュニティと向き合い、地域に入り込んで、まちづくりに関する複数の選択肢を提示するとともにその実現に向けて協働作業ができる人材を育成します。 <p>具体的には、多様な地域課題に対応したまちづくりのために、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域社会（コミュニティ）を構成する社会集団や制度などをデザインする人材 ・実践的な建築技術を基礎として居住空間をデザインする人材 ・実践的な建築技術を基礎として社会基盤をデザインする人材 <p>の育成をします。</p>	<p>文系分野を主とする学生は理系の知識を、理系分野を主とする学生は文系の知識も兼ね備えることで、総合的な視野と幅広い知識を習得します。このために、人文科学、社会科学、自然科学及びそれらの融合領域に関する多彩な科目を開設しています。</p> <p>学生自身が学問的関心や興味のある分野を選択して専門的に学ぶことができるように、6つのコース（産業・まちづくりコース、自治政策コース、環境政策コース、生活・社会コース、人間・文化コース、国際教養コース）を開設しています。</p> <p>多文化共生の社会で活躍できるようにするために、複数の言語を使った学修を行い、国際的な視野や多様な地域の文化への関心を使います。</p> <p>地域の社会や文化が抱える現実の問題に対して実践的に取り組む方法を学ぶために、全学部生必修科目の社会活動演習と地域学実習の履修を課します。</p> <p>初年次セミナー、基礎セミナー、及び専門セミナー（1学年4人以下）において4年間を通した少人数でのセミナー教育を行うことで、課題発見力、論理的思考力、コミュニケーション力、表現力を養います。</p>
卒業後の主な進路	平成28年4月に新設されたため不明	公務員、運輸・情報通信業、金融・保険業、建設・製造業、医療・福祉・教育業など